

ボランティアだより 2021・11月 171号

ふれあいひろば

松川町社会福祉協議会 TEL 0265-36-3778 編集・発行 ボランティア連絡会 編集部

*ボランティアだよりは皆様からご協力いただいた共同募金配分金で発行しています。

こども福祉教室あいむ「大道芸体験」



10月24日(日)、こども福祉教室あいむが開催されました。この日は宮田村で活動している大道芸チーム“ドリーム”的皆さんをお呼びし「大道芸体験」を行いました。ドリームは親愛の里シンフォニー、親愛の里夢工房の利用者さんがメンバーとなって活動しています。

まず始めに、ドリームの皆さんによる回しと皿回しを披露してくださいました。難しい技の数々に「おー！すごい！」と歓声が上がりました。次にあいむの生徒さんも大道芸を体験しました。生徒さんからは「楽しかった、もっとやりたい！」「障がいがある人でも得意なところを活かして仕事などをしているとわかった」という感想がありました。大道芸を通して皆さんと交流ができるとても有意義な時間となりました。



上大島花協と 花てまりクラブの 合同作業

〈10.9（土）AM7時～〉



上大島花いっぽい運動推進協議会は、下伊那北部の玄関口である松川インター取付道路周辺の景観を保つ事により、「松川町に来たい」と思われるような環境整備を行うことを目的に、年4回作業を実施しています。

道路両側面土手の草刈り、サルスベリ、ドウダンの管理、花による景観づくりのための苗木、種苗の植付け管理、ゴミ拾いが主な作業です。

これからも引き続き美化活動に取り組み、くだものの里として知られるまつかわの玄関口を彩りながら、地域のつながりをより深めていければと思います。

花協事務局 片桐 章

シリーズ ボランティアグループ紹介

ゆきわり草とは・・・

ほーい 元気? ーーー

温かな一手を!

ぱつかぽかの会は町内ひとり暮らしの方を支える会と致しまして誕生致しました会です。ふれあい広場の五平餅販売、年末のひとり暮らしの方々へのおせち料理作りを主に活動致しております。「コロナ禍によりここ二年間は、ふれあい広場、おせち作りも中止を余儀なくされております。

また会員の高齢化も切ない課題になつておりますが、一品一品手作りのおせち料理は大変喜ばれておりませんのでコロナが緩みましたら、手掛けて参りたいと思つております。

また会員の親睦を図る為二年に一度研修旅行も計画し、コロナ禍の前年は信州花フェスタ、松本城、草間弥生展鑑賞を致しました。

町内の皆様には温かな一手にて是非ボランティアに携わつて頂けましたらと、希つております。

ぱつかぽかの会

私達ゆきわり草の活動は、一言で言えれば「お弁当配り」です。独り暮らしや二人世帯のお年寄り等お弁当を必要としている方の所へ毎時にお届けしています。味の里

帯のお年寄り等お弁当を必要としている方の所へ毎時にお届けしています。味の里

山の幸へ松茸も沢山並び、多くの方から喜ばれました。

店内には歴史ある二十世紀梨をはじめ洋梨や赤梨と言われる南水、新

始めた頃は、町内のあちこち知らない所へ行けたり、四季の移り変わりを感じられてとても楽しく、逆にボランティアをして頂いてる気がしました。又、お届けする方達の所を皆で確認し乍ら町内を巡った事もあります。

最近は、当所からの方達が殺々と退かれ個人的には月二、三回の活動ですが皆少しずつ大変になつてきています。配食を利用される方も入れ替わりはありますが、少し

の木が見え、遠くには南アルプスがずつ増えています。多い日は三人で12件という事もあります。『あまり大』ことはできんけど一時間位なら」と思われる方、是非お力を貸して下さい。ただし、車と免許はこの場所の良さを改めて感じています。

村田 栄

端野 隅子